

知っていますか？

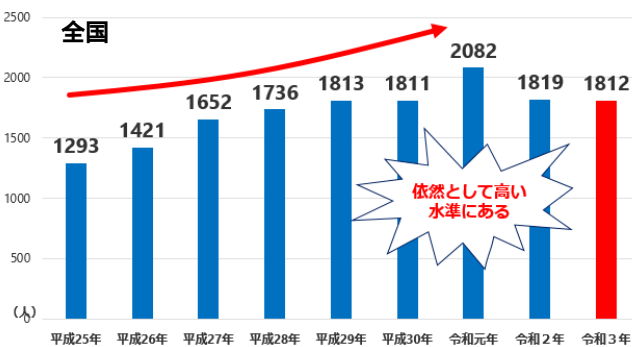
子どもたちとSNSを取り巻く現状



SNSを通じて犯罪の被害にあう児童の数が増えています！
令和3年も依然として高い水準にあります。

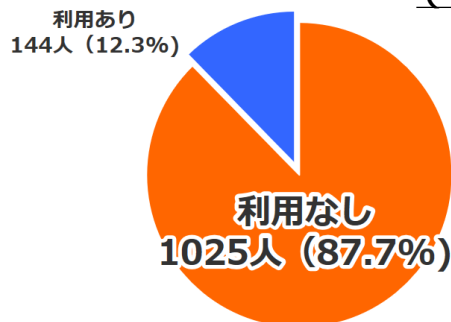


被害にあった児童の数（平成25年～令和3年）



令和3年、SNSを通じて児童ポルノや児童買春などの被害にあった児童は1,812人。
前年より減少したものの、平成25年以降増加傾向にあり、依然として高い水準にあります。

被害にあった児童の「フィルタリング」利用状況（令和3年）



SNSを通じて犯罪の被害にあった児童のうち、「フィルタリング」を利用していなかった児童は87.7%

出典：警察庁「令和3年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」

実際の被害事例

未成年者誘拐被害

SNSで知り合った人に悩みを相談していたら「慰めてあげる」などと言葉巧みに誘い出され、直接会いに行ったところ加害者の自宅に連れ込まれてしまった。



児童ポルノ製造・提供被害

女子生徒は交際相手に裸の写真を求められ、「送ってくれないなら別れる」などと迫られ自分の裸の写真を送信してしまった。その後、交際を断ったところ逆恨みされ、インターネット上に自分の裸の写真を拡散されてしまった。



ストーカー被害

よく行くお気に入りの店を友人に教えてあげようと思い、位置情報をオフにして撮影した写真をSNSに投稿したところ、投稿した写真の背景から撮影場所を特定されて、知らない人に付きまといられるようになった。



被害防止のために

ネットやスマホ利用でのトラブルは、SNSによるものに限りません。個人情報や情報流出、スマホ依存、ゲームなどの課金トラブルなど様々です。信頼と放任は大違い！子供たちを危険から守るために必要な対策は？

ルールを作りましょう！

子どもの発達段階・日常生活に見合ったルールを決めておくことが必要です。ルールを作る際は、ネットの危険性や使用目的を一緒に考え、子供が納得できるルールとすることや、守れなかった時の対応を決めておくことも大切です。

【ルールの例】

- 利用する場所・時間帯を決める
- 個人情報や顔写真を載せない
- パスワードは保護者が管理する
- ネットで知り合った人とは合わない

フィルタリングを必ず利用しましょう！

有害なサイトへのアクセスや危険な出会いなどを防ぐためにはフィルタリングが有効です。使用時間や利用できるアプリの制限など、年齢に応じた制限を設定しましょう。スマホ依存の防止にも効果的であり、居場所の確認機能も利用できます。

【携帯電話大手3社のフィルタリングサービス】



あんしんフィルター
for